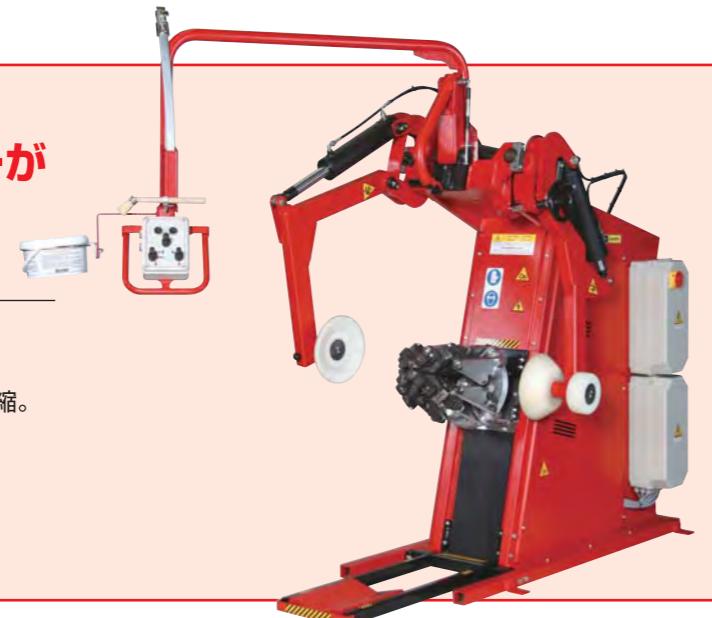


圧倒的な作業効率を誇る
バトラーの大型タイヤチェンジャーが
更に使いやすくなつて新登場
ナビゲーターO1N

NAVO1N

- 前後ローラーシステムによる同時作業で作業時間を大幅短縮。
- 上下調整可能な開閉式チャッキングクランプで
ラクラク・安全・スピードクランプ。
- 一箇所に集約されたコントローラーで直感的な操作が可能!
立ち作業中心で作業者の負担も軽減。



トピックス

大好評の普及型スキャンツール
『スマートダイアグ』がさらにお得!

圧倒的な低価格と安心のサポートで大好評をいただいている普及型スキャンツール『スマートダイアグ』が、さらにお得に導入可能!この機会にぜひご検討ください。

- ソフトを自由に選択
- 圧倒的な低価格
- 作業サポート対応



好評発売中

- 導入費用は36,750円から(3社分の診断ソフト含む)
- 主要4システムの故障コード読み取り・消去、データモニター、フリーズ・フレームデータ機能搭載。

SMART DIAG グリーンセール 得 キャンペーン!

- スマートダイアグご購入の方、全員に
特典1 ご購入金額より5%OFF!!
- 特別会員にご加入の方は、さらに
特典2 オプションプリンターを無償提供!!

様々なサポートが受けられる特別会員がお得です!!
年額56,700円で加入できる特別会員なら、故障診断をフォローする「技術サポート」を1年間ご利用できます。また初回加入時は、特典として合計2年間のソフトウェアアップデートと製品保証が無償で受けられます。

実績多数!



トピックス

買い替え・廃棄の前にご連絡を!
ANZENがお使いの整備機器を下取ります

ANZENでは、買い替えや移転などに伴い廃棄される整備機器の下取りを行なっています。

古い機器を下取ることで、廃棄・撤去にかかる費用を削減できるうえ、査定額によっては、代替商品のご購入額からお値引きすることも可能です。

自動車整備機器であれば、メーカー・機種を問わず無料で査定いたしますので、まずはお気軽にお声がけください。



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス(ボイスワープ)対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。
受付時間:月~金 (AM9:00~PM5:00)

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ "ANZEN Web" ではANZENの最新情報を提供しています。

自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS

CHARGE



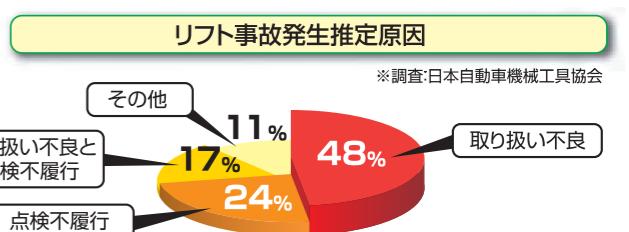
リフトの状態は必ずチェック!

リフト点検資格者による点検整備を行いましょう

リフト事故原因の2大原因が「取り扱い不良」と「点検不履行」

日本自動車機械工具協会がまとめた2011年度に発生した整備機器関連の事故事例によると、リフト事故発生件数は18件、事故の内訳は物損事故が12件、人身事故が6件(うち死亡事故1件)でした。

全体的に事故事例を分析すると、機器取り扱い不良が事故発生要因の大半を占める傾向が明らかで、また事故発生時のほとんどの場合で、リフトの保守点検や日常点検が実施されていなかつた点が顕著になりました。機器の点検整備に加え、機器導入時の正確な取り扱い研修がより一層重要といえます。



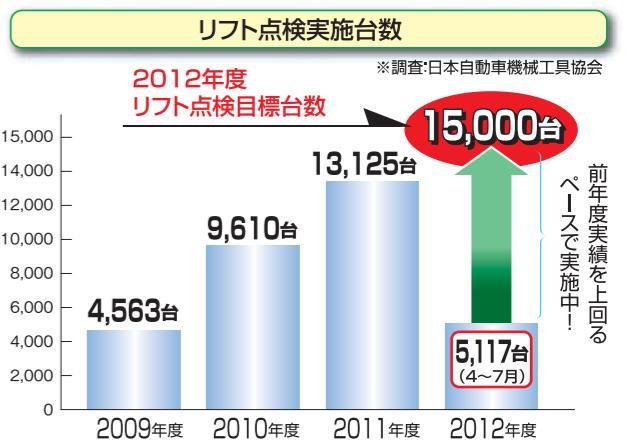
1998年~2011年の間に発生した自動車整備機器の事故382件のうち、リフト事故は約7割にあたる270件。さらにその9割が、「取り扱い不良」と「点検不履行」が原因でした。

リフト点検の必要性が業界に浸透してきています

このような実情を受けて、日本自動車機械工具協会は2009年度よりリフト点検資格者制度をスタート。4年目となる現在では、リフト点検の重要性が認知され始め、積極的に点検を実施される企業が増えてきました。今年度は15,000台のリフト点検を目標に、業界を挙げて取り組んでいく方針です。

保守点検と予防整備を定期的に行いましょう

リフト事故防止には、異常を感じなくても定期的に検査を行い、潜在的な不調の元を解消してトラブルを未然に防ぐことが大切です。また、予防整備で突発的な機器のトラブルを防ぐことは、メンテナンス費用の圧縮にもつながります。お客様の日常点検と合わせ、サービスエンジニアによる保守点検を行い、より安全・かつ快適な作業環境づくりを目指していきましょう。



ANZENでは「リフト点検資格」を有するサービスエンジニアが正しい専門知識に基づいた点検を行なっています。お気軽にご相談ください。



アルピコ自工株式会社 長野中央事業所

長野県長野市大字稻葉北村前沖2555-2
TEL 026-217-8301

長野県内を中心に様々な事業を手がける「アルピコグループ」の自動車整備事業を担うアルピコ自工株式会社。同社は業界初となる車両検査システム「クリアーアー25」を開発、2012年7月には県内4拠点目の直営店舗となる長野中央事業所を新設しました。同社の総社員は110名、長野中央事業所のスタッフは15名。本事業所は念願だった市中心部の出店となり、市の南部に位置する長野事業所と予約管理システムを共有。市内に事業所を2店舗設置することで、よりきめの細かい対応が可能になりました。長野中央事業所では本年度入庫台数3,500台を目指しておあり、5年後はこの長野市内の2店舗で年間入庫台数1万台を目指していく方針です。



見せる、見える、聞こえる整備。お客様の信頼を獲得する“クリアーアー25”

■抜群の透明性と信頼性を誇る「クリアーアー25」で入庫拡大

「クリアーアー25」はメカニックとサービスアドバイザー、自動車検査員の3人1組がチームとなり、工程を進みながら流れ作業で点検作業を行うことで、時間短縮・効率化を図る車検システムとなっています。検査ラインは3つのステーションに分かれており、エンジンルーム内の点検からテスターを使用したブレーキやヘッドライトなどの測定、リフトアップによる足回りや下回りの点検まで実施します。作業はすべてお客様の目の前で行われ、検査終了後には診断カルテが即時に発行されます。

そんな「クリアーアー25」最大の利点は、お客様にとって検査内容すべてが「明瞭・明確」ということ。これは愛車の状態を理解してもらうことではじめてお客様が望むサービスが見えてくるという信念に基づいています。このシステムではお客様が納得されたうえで追加整備を選択することができ、事業者にとっても容認を得やすく双方にメリットがあります。柳沢営業促進部長は「実際に車検を受けてもらえばその良さがわかります。同社のリピート率は70~75%。女性のお客様が半数以上を占めているのも特徴です」と話します。これまで「女性客」がキーワードとして注目されており、女性一人でも気軽に入店しやすく、また家族でも楽しめる「クリアーアー25」は、「また来たい」と思わせる魅力がつまつた、頼れる車検システムといえるでしょう。

■検査結果は数値で「見える化」。機器を活用して説得力に幅を

そんなクリアーアー25の短時間車検を実現する背景には、スタッフの高い技術やチームワークはもちろん、機器やテスター、工具の配置まで一切のムダを省いた設備も重要なポイントとなっています。時間短縮に欠かせないのが、検査機器をトータルコントロールする車検ラインシステム「ラインマスター」です。液晶モニターには52インチの大画面を設置。



第1ステーションでは、主にエンジン内部の点検を実施。なぜオイル交換が必要なのか、お客様にはフィルターやオイルを実際に見てもらしながら説明を行う

第2ステーションでは、ブレーキ・ヘッドライトなどの測定を実施。測定結果がモニターに表示されるので、判定結果もわかりやすい

第3ステーションでは、ブレーキライニングやバッテリーの磨耗、ハンドルのガタつきやゴム類の劣化、マフラーの機能を点検。お客様に見てもらって状態を説明する

最後に、診断カルテをもとに検査結果をお客様に報告。愛車の状態や追加整備の必要性についてアドバイスを行います

山陽自動車興業株式会社 水島工場

岡山県倉敷市南畠7-9-33
TEL 086-455-6457

山陽自動車興業株式会社は、自動車整備工場だけでなく、観光事業や産業機械の製造など、多岐に渡る事業を展開するビッグカンパニー。整備工場も岡山の本社工場のほか、倉敷、水島と3工場を保有。水島工場の敷地面積は6,000m²あり、同じ敷地内にはさらに3棟の工場が分設されています。顧客数は水島工場だけで法人150件に加えて個人ユーザーもいて、入庫台数は月間平均600台。メカニック13名を含む20名の社員で、365日24時間体制で対応しています。今回取材させていただいたのは水島工場の一つ、老朽化をきっかけに今年4月にリニューアルオープンした新工場。膨大な入庫台数に対応すべく、最新の設備とアイディアを取り入れ、スピードと効率を追求。岡山・倉敷工場に対するモデルファクトリーとしての役目も担っています。

知りたい!
元気な工場の秘密



目標は多様な車両・多彩な整備を受け入れる“総合病院”

■スピード・効率重視の設備で1時間の作業短縮を

「当社は車両の修理が多様化する今日、企業として“自動車・機械の総合病院”を目指しています」(三原執行役)。そんな同社が“総合病院”として掲げるモットーは、「より完全に、より早く、より安く」。その指針通り、同社は岡山・倉敷・水島の各工場に最先端の設備機器を導入し、お客様の多様なニーズに応えています。水島の新工場は、最近の車両傾向に対応すべく、多くのリフトを導入して作業の効率化を図っています。設置されたのは「ツインパワーリフト」の4柱式2機と3柱式2機、「フロアリフト」2機。「近年増加しているエアサス車や4軸の低床車に対応するために“ツインパワーリフト”を選びました」と三原執行役。「特に4柱式は、4輪アエラス車にもフルセットのトレーラーにも対応できることが魅力」と話します。現場の要望で導入した“フロアリフト”は、1ストールに2機を縦に並べて設置。入庫車両に合わせて柔軟に対応できます。谷本工場長は「故障診断、3ヶ月点検、クラッチやデフのオーバーホールなどに使用していますが、リフトアップ不要なので約15分の時間短縮になりました」と教えてくれました。さらに各ストールの横には、アタッチメントや必要工具をいつでも手の届く距離に置くことができる“移動式吊り下げ工具ボード”を設置。三原執行役によると「人間の動線を考え、アイドルタイムを可能な限り減らすために導入した」とのことです。こちらは車両1台あたり約30分の短縮になったそうです。各リフトと工具ボードを活用し、水島工場では今後トータルで1時間の作業時間短縮を目指しています。



多様な車種に対応する“ツインパワーリフト”
右は3柱式、中央と左は4柱式を使用している

■自立型リール架台で特殊車両を考慮した高い天井を実現

水島新工場は、リフトだけでなく、工場全体が地域性を考慮した設計になっています。水島地区は大手企業の生産拠点・物流デポ基地が集中し、入庫車両もダンプカーやウイング車、トレーラーなどの特殊車両が多い地域。新工場では4t以上の大型車を専門に整備するため、こうした特殊車両への対応が求められてきました。そこで新工場の特徴ともなっているのが、船の“ドック”を彷彿とさせる高い天井と、縦横無尽に走る大型の天井クレーンです。天井の高さは「ウイングをフルオープンにしてリフトアップした場合などを想定しました」と谷本工場長。しかし、クレーンも通る天井では、リールを吊るせません。この問題を解決したのが、ストール横に組み上げられた自立型のリール架台。「吊り下げ工具ボード」の導入が前提だったため、ボードとリールを共通で取り付けられる架台を組むことにしたのです(三原執行役)。工夫をこらし特殊車両の整備に見事対応した水島新工場。“総合病院”として、どんな車両でも「ノーと言わない工場」に創りあげました。



■“ソフト”面の強化で他社との差別化を目指す

充実の設備と柔軟なアイディアで万全の体制を整えた水島新工場。しかし谷本工場長は、「“ハード”は誰でも真似できるため、設備に頼りきらず“ソフト”を強化するのが今後の課題」と分析します。三原執行役も「他社と同じ事をしても差別化にはなりません。我々の強みは特殊なものも外注作業ではなく、自社で作業できることです」と語り、これからは入庫促進や社員教育など、他社にできない“ソフト”を充実させていくと意気込みを見せていました。中でも特に注力するのは、やはり時間厳守・納期短縮・安定稼働といったスピードに関する部分のこと。「最新設備の性能を活かし、お客様を待たせないという付加価値を生み出せば」と三原執行役は締めくくりました。最新の“ハード”に斬新な“ソフト”が加わり、水島新工場がその真価を發揮する日が待ち遠しく思われます。